

農業従事者及び農業関連企業向け

食と農を考える！
世界に勝つ農業革命!!

糖度

おいしさのスコア
農産物のカタチ

抗酸化力

硝酸
イオン

一般流通品
平均値

ビタミンC

目指せ
農家スター

オーガニック農家スター★エコ誕生

ORGANIC ECO FESTA 2018 in TOKUSHIMA

入場
無料



2018年 2月24日(土)
会場 | アスティとくしま 多目的ホール

徳島県徳島市山城町東浜傍1-1

主催 | オーガニック・エコフェスタ実行委員会

協賛 | 一般社団法人日本有機農業普及協会、東とくしま農業協同組合、生活協同組合連合会コープ自然派事業連合、株式会社メディカル青果物研究所(デリカフーズグループ)、有限会社ドリーム大地、農林中央金庫、オランダ農業協同組合、正食協会、ムソー株式会社

共催 | 徳島県

後援 | 中四国農政局、徳島市、小松島市、株式会社エフエム徳島、株式会社エフエムびざん、NHK徳島放送局、一般社団法人オーガニックヴィレッジジャパン、四国放送株式会社、一般社団法人徳島新聞社、株式会社日本農業新聞、一般社団法人日本野菜ソムリエ協会、特定非営利活動法人有機農業参入促進協議会

organic day.
「有機農業の日」に賛同します

オーガニック・エコフェスタ実行委員会事務局 徳島県美馬市脇町大字猪尻字若宮南131-2 [ナカガワ・アド株式会社内] TEL.0883-52-2083 FAX.0883-52-2080 メール organic@adjapan.jp

※確定申告と重なっており、駐車場台数には限りがございますので、ご来場の際はできるかぎり公共交通機関をご利用ください。

食と農を考える! 世界に勝つ農業革命!!

オーガニック・エコフェスタ2018でスキルを高めて、農家スター★を目指せ!

オーガニック・エコをキーワードにプロフェッショナルをお招きし、セミナーやトークセッションなど、ビジネス拡大につながるコンテンツが勢揃いします。

2月24日(土) 11:30~ 受付 12:00~ オープニングセレモニー

12:30~13:50

栄養価コンテスト結果発表と授賞式

私たちの心身の健康を支えている野菜。しかしその中身は、栄養価の高いものから低いものまで様々。有機栽培だからといっても、必ず栄養価が高くなるとは限りません。では栄養価の高い野菜は、どのような栽培方法によって生み出されるのか? 栄養価コンテストではグランプリを決定し、その農家さんに栽培方法をコメントしていただきます。環境にやさしい有機農業の次の目標は、「どうすれば人の健康を支えることのできる有機農業にすることができるのか?」技術の切磋琢磨は続いています。



小祝政明
(一社)日本有機農業普及協会
代表理事



武井安由知氏
(株)メディカル青果物研究所
(デリカフーズグループ)
研究開発室長



徳江倫明氏
(一社)フードトラストプロジェクト
代表理事

14:00~14:50

農業技術者会議 [第1部] 農業生産の現場から



高品質・多収穫技術の導入による 小面積経営の可能性

大谷武久氏

東予有機農業研究会

元銀行員・55歳で退職し農業を始める。土壌分析を行い、不足している栄養分を補う科学的有機農業に加え、堆肥を大量に投入する栽培は東予有機農業研究会の中では特異な存在です。早生みかんの糖度17度、甘平の糖度18度、にんじんは反収15トン以上など高収量・高品質を実現。



自然農法のお米づくり

畑 匡昭氏

1960年兵庫県三木市生まれ。2008年まで市の職員をしながら最後の年は、3町7反の田んぼを作ったが、疲れて倒れそうだったので、7年半前に退職して農業に専念するようになった。米こうじや味噌づくりもしている。公務員を辞めてしまったが、兼業農家が自然な形(生き方)であり、日本の農業を支えているという、寛次郎氏の思想に共鳴している。

15:00~16:30

農業技術者会議 [第2部] 農業技術研究の現場から



最新の解析技術を用いて 有機農業を科学する

市橋泰範氏

(国研)科学技術振興機構 さきがけ専任研究員
(国研)理化学研究所 環境資源科学研究所センター植物免疫研究グループ

2010年 東京大学大学院理学系研究科博士課程修了 理学博士
2010年 University of California Davis Postdoctoral fellow
2014年 国立研究開発法人 理化学研究所 基礎科学特別研究員
2016年 国立研究開発法人 科学技術振興機構 さきがけ研究者
専門:植物の進化発生学とゲノミクス解析。現在、植物-微生物超個体の分子生物学の確立を目指す。



二瓶直登氏

1998年3月 東北大学大学院農学研究所資源生物科学専攻博士課程前期修了

1998年4月 福島県庁入庁 福島県農業試験場種芸部配属
2011年6月 福島県庁農業支援総室環境保全農業課へ異動
2013年6月 東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授
現在、ダイズやソバを対象に、放射性物質(主に放射性セシウム)で汚染した地域の農業復興に寄与する研究を行っている。



サトウキビ発酵肥料と 土壌還元消毒用資材エコロジアル

井田ちぐさ氏

日本アルコール産業(株) 技術開発グループマネージャー
千葉大学大学院博士後期課程修了、博士(農学)

アルコール発酵で培った、発酵・酵母、微生物の技術を用い、有機質肥料やエタノール土壌還元消毒剤の研究開発に取り組んでいる。



腐植物質による環境保全循環農業と メカニズムについて

鈴木一哉氏

エンザイム(株)取締役営業本部長

エンザイム(株)は腐植土と共に環境と健康を考える企業です。大地からの贈り物 腐植物質(フルボ酸、フミン酸)の原料を保持し、また、その用途開発研究を40年間続けています。自然摂理を受容し、その特性を生かした環境技術を保持し、日本及びアジア圏内において、バイオ アグリテック エンジニアリングを展開しています。近年は培った技術を応用し、化粧品・サプリメントにおいても事業展開をしております。鈴木本部長は、国内外において環境保全や循環農業のコンサルティングおよび実践をしていただけます。



「GREEN EARTH TOGETHER」は(株)花ごころと共に、国内外で循環型農業を拓めるにあたっての象徴となっています。

16:30~17:00

エンディングセッション

これからの農業を考える

栄養価コンテストとその結果を踏まえて、今後の農業はどのように変わっていくのか? 地域農業の縁の下の力持ちであるお二方をお招きし、これからの農業の展望についてお話いただきます。

【パネリスト】

【コーディネーター】



西田 聖氏

東とくしま農業協同組合
経済事業本部 副参事



伊藤嘉洋氏

三重県四日市
鈴鹿地域農業改良普及センター



小祝政明

(一社)日本有機農業普及協会
代表理事